

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

NO.520

研究課題名	Barrett 食道癌におけるグルココルチコイド受容体の発現動態に関する検討
当院の研究責任者	所 属 : 外科 氏 名 : 神波 力也
他の研究機関および各施設の研究責任者	東北大学医学系研究科病理診断学分野 藤島史喜
本研究の目的	Barrett 食道癌におけるグルココルチコイド受容体の発現を免疫組織化学的に検索し、臨床病理学的因子との関連を検討する。
対象者	1994 年から 2017 年までに東北大学病院, 八戸市立市民病院, 岩手県立中央病院, 平鹿総合病院, 日本海総合病院, 石巻赤十字病院, 大崎市民病院, 仙台オープン病院の合計 8 施設において食道切除, あるいは ESD にて切除されたバレット食道癌症例。全体でおよそ 60 例を対象とする。
調査データ 該当期間	データ抽出期間 西暦1994年 1 月 1 日 ~ 西暦2017年12月31日 研究期間 西暦2017年10月23日 ~ 西暦2022年 3 月31日
研究の方法	各施設から収集した臨床病理学的因子の比較, 検討を行うとともに, グルココルチコイド受容体等の免疫組織化学を行う。またバレット食道腺癌由来の培養細胞を用い, グルココルチコイドの腫瘍細胞への影響について検討を行う。
使用する試料等	試料: 外科的または内視鏡的切除により腫瘍組織が過去に摘出されたバレット食道腺癌で, 10%ホルマリン固定パラフィン包埋組織入手が可能な症例。

	<p>情報：年齢，性別，腫瘍局在，腫瘍径，腫瘍進行度(cTNM, cStage)，手術法，術前術後療法の有無，再発の有無，無病生存期間，全生存期間，逆流性食道炎・食道裂孔ヘルニアの有無，BMI（身体所見）タバコとアルコール摂取の有無，診断前の PPI，NSAIDS 内服の有無，H.pylori 除菌歴の有無，HbA1c，H.pylori 抗体，CEA など腫瘍マーカー等</p>
<p>試料情報の他の研究機関への提供および提供方法</p>	<p>匿名化して提供する。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>患者さん個人を特定できる情報は使用されません。</p>
<p>本研究の資金源（利益相反）</p>	<p>特になし</p>
<p>お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）</p>	<p>住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 外科 神波 力也</p>
<p>備考</p>	